

平成17年国勢調査 第3次基本集計結果 — 姫路市の概要 —

姫路市 政策推進室 統計担当 (TEL 079-221-2208)

平成17年10月1日現在で実施された「平成17年国勢調査」の第3次基本集計（就業者の職業など）の結果（確定値）が総務省より公表されましたので、姫路市の概要を紹介します。

なお、平成18年3月27日に合併した4町分（家島町、夢前町、香寺町、安富町）は、「Ⅱ合併町の状況」以外は含まれていません。

I 職業

1 職業大分類別就業者

■ 「生産工程・労務作業者」が総数の33.1%と最も高い割合

平成17年10月1日現在、姫路市の15歳以上就業者22万468人を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業者」が7万2,978人で就業者全体の33.1%を占めて最も多く、次いで、「事務従事者」が3万9,364人（17.9%）、「販売従事者」が3万4,276人（15.5%）、「専門的・技術的職業従事者」（研究者、医師、看護師、教員など）が2万8,638人（13.0%）と続いています。

前回（平成12年）と比較した就業者数の増減率をみると、「管理的職業従事者」の28.5%減と最も高く、次いで「サービス職業従事者」（理美容師、接客係など）の20.0%増となっています。

図1 職業（大分類）別15歳以上就業者数（平成12年、平成17年）

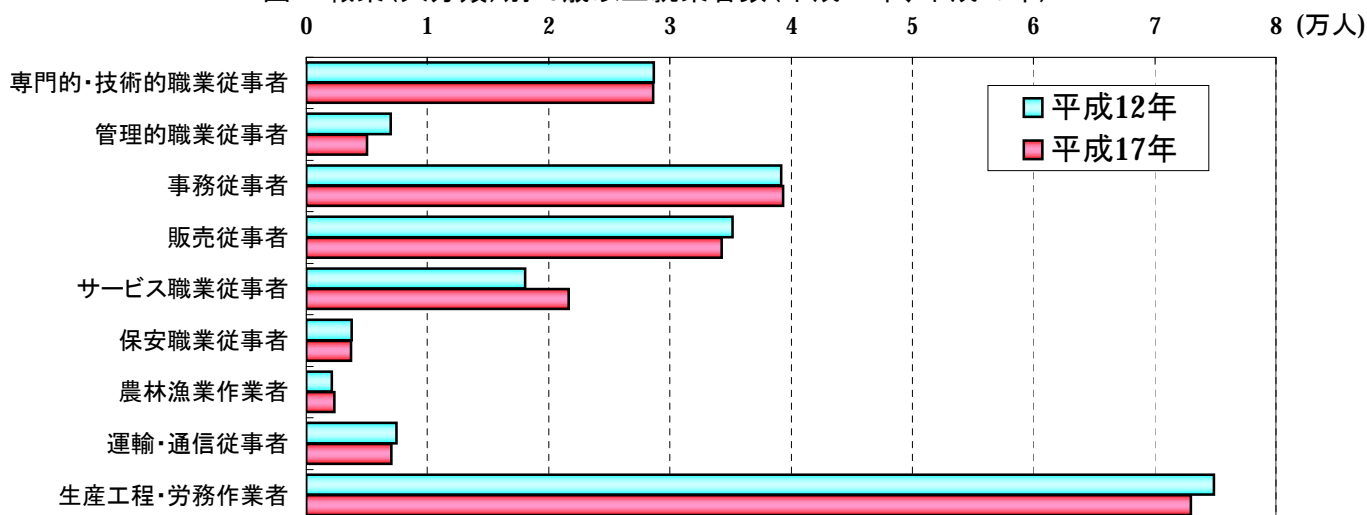


表1 職業（大分類）別15歳以上就業者数（平成12年、平成17年）

	平成12年		平成17年				兵庫県(H17)	
	就業者数	構成比(%)	就業者数	構成比(%)	増減数	増減率(%)	就業者数	構成比(%)
総数 1)	221,300	100.0	220,468	100.0	△ 832	△ 0.4	2,553,965	100.0
A 専門的・技術的職業従事者	28,660	13.0	28,638	13.0	△ 22	△ 0.1	369,483	14.5
B 管理的職業従事者	6,985	3.2	4,992	2.3	△ 1,993	△ 28.5	64,195	2.5
C 事務従事者	39,156	17.7	39,364	17.9	208	0.5	509,795	20.0
D 販売従事者	35,153	15.9	34,276	15.5	△ 877	△ 2.5	396,020	15.5
E サービス職業従事者	18,049	8.2	21,659	9.8	3,610	20.0	256,783	10.1
F 保安職業従事者	3,734	1.7	3,673	1.7	△ 61	△ 1.6	41,708	1.6
G 農林漁業作業者	2,103	1.0	2,343	1.1	240	11.4	63,879	2.5
H 運輸・通信従事者	7,437	3.4	7,043	3.2	△ 394	△ 5.3	79,340	3.1
I 生産工程・労務作業者	74,858	33.8	72,978	33.1	△ 1,880	△ 2.5	716,375	28.0

1) 「分類不能の職業」含む。

2 男女別

■男性では「生産工程・労務作業者」、女性では「事務従事者」が最も多い

男女別に職業大分類別就業者数をみると、男性では「生産工程・労務作業者」が5万5,087人で男性の就業者全体（12万9,928人）の42.4%を占めて最も多く、次いで、「販売従事者」が2万785人（16.0%）、「専門的・技術的職業従事者」が1万4,407人（11.1%）と続いています。

女性では「事務従事者」が2万6,056人で女性の就業者全体（9万540人）の28.8%を占めて最も多く、次いで、「生産工程・労務作業者」が1万7,891人（19.8%）、「サービス職業従事者」が1万4,925人（16.5%）と続いています。

図2 職業(大分類)別15歳以上就業者の男女別割合(平成17年)

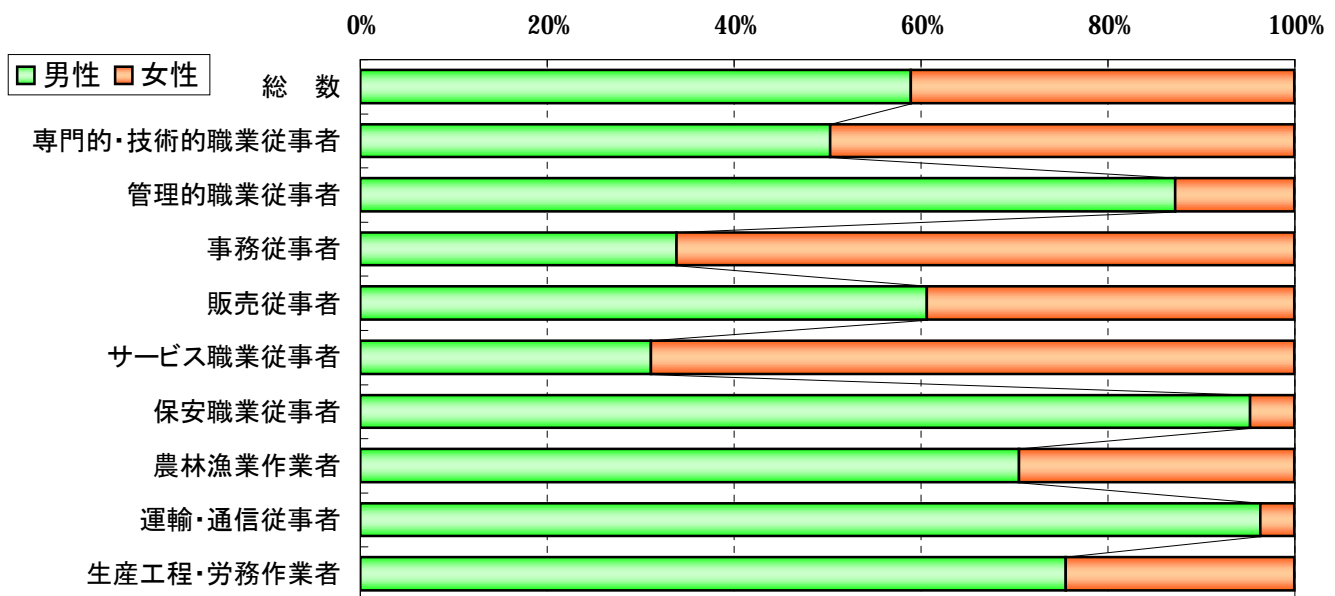


表2 職業(大分類)、男女別15歳以上就業者数(平成12年、平成17年)

	平成12年		平成17年				男女別割合 (%)
	就業者数	構成比 (%)	就業者数	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)	
男性 総数 1)	133,831	100.0	129,928	100.0	△ 3,903	△ 2.9	58.9
A 専門的・技術的職業従事者	16,007	12.0	14,407	11.1	△ 1,600	△ 10.0	50.3
B 管理的職業従事者	5,942	4.4	4,354	3.4	△ 1,588	△ 26.7	87.2
C 事務従事者	13,071	9.8	13,308	10.2	237	1.8	33.8
D 販売従事者	21,904	16.4	20,785	16.0	△ 1,119	△ 5.1	60.6
E サービス職業従事者	6,238	4.7	6,734	5.2	496	8.0	31.1
F 保安職業従事者	3,564	2.7	3,497	2.7	△ 67	△ 1.9	95.2
G 農林漁業作業者	1,435	1.1	1,651	1.3	216	15.1	70.5
H 運輸・通信従事者	7,124	5.3	6,781	5.2	△ 343	△ 4.8	96.3
I 生産工程・労務作業者	55,759	41.7	55,087	42.4	△ 672	△ 1.2	75.5
女性 総数 1)	87,469	100.0	90,540	100.0	3,071	3.5	41.1
A 専門的・技術的職業従事者	12,653	14.5	14,231	15.7	1,578	12.5	49.7
B 管理的職業従事者	1,043	1.2	638	0.7	△ 405	△ 38.8	12.8
C 事務従事者	26,085	29.8	26,056	28.8	△ 29	△ 0.1	66.2
D 販売従事者	13,249	15.1	13,491	14.9	242	1.8	39.4
E サービス職業従事者	11,811	13.5	14,925	16.5	3,114	26.4	68.9
F 保安職業従事者	170	0.2	176	0.2	6	3.5	4.8
G 農林漁業作業者	668	0.8	692	0.8	24	3.6	29.5
H 運輸・通信従事者	313	0.4	262	0.3	△ 51	△ 16.3	3.7
I 生産工程・労務作業者	19,099	21.8	17,891	19.8	△ 1,208	△ 6.3	24.5

1) 「分類不能の職業」含む。

3 年齢(3区分)別

■15～34歳就業者の占める割合が最も高いのは「サービス職業従事者」

職業大分類別就業者数を年齢(3区分)別にみると、「15～34歳」就業者の就業者全体に占める割合が最も高いのは「サービス職業従事者」(35.7%)で、以下、「専門的・技術的職業従事者」(35.4%)、「事務従事者」(33.7%)、「生産工程・労務作業員」(32.8%)と続き、この4職業大分類が「15～34歳」の割合(32.4%)を上回っています。

「35～64歳」就業者の割合が最も高いのは「管理的職業従事者」(74.6%)で、以下、「運輸・通信従事者」(72.4%)などと続き、「農林漁業作業員」(36.2%)を除く全ての職業大分類で15歳以上就業者全体の5割を超えています。

「65歳以上」就業者の割合が最も高いのは「農林漁業作業員」(54.5%)で、以下、「管理的職業従事者」(21.3%)、「販売従事者」(7.6%)、「サービス職業従事者」(7.2%)と続き、この4職業大分類が「65歳以上」の割合(6.4%)を上回っています。

図3 職業(大分類)別15歳以上就業者の年齢(3区分)別割合(平成17年)

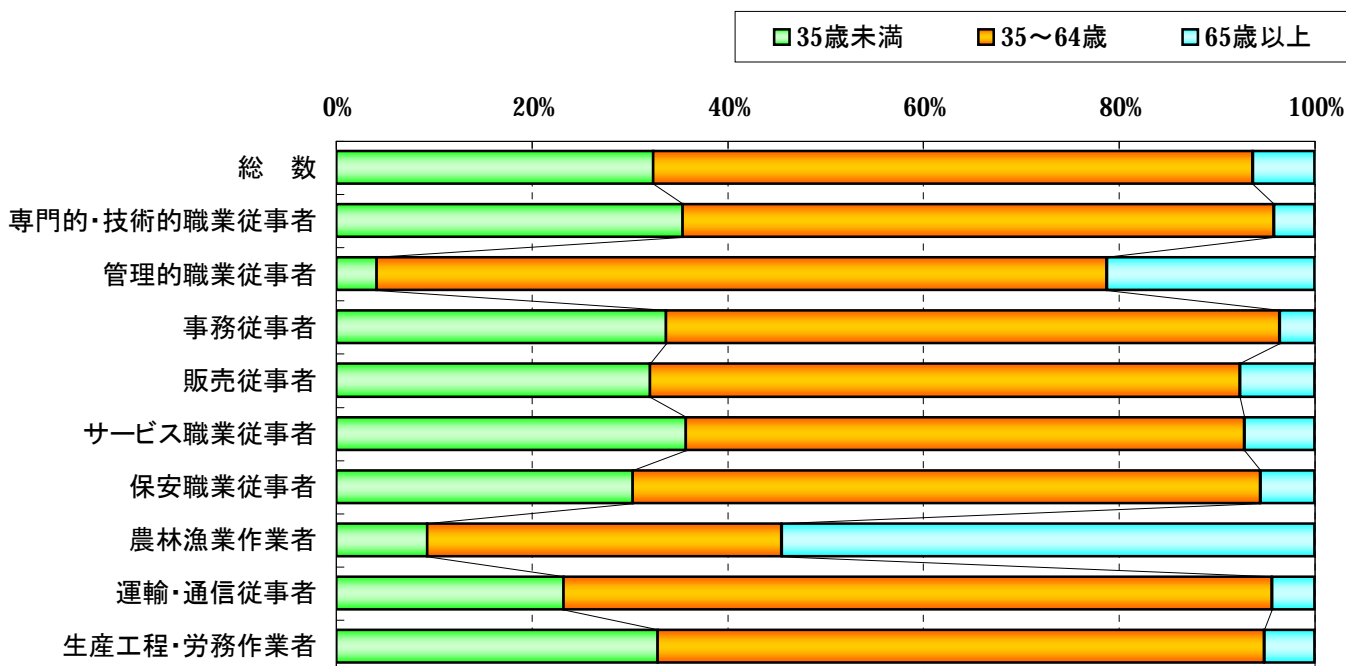


表3 職業(大分類)、年齢(3区分)別15歳以上就業者数(平成17年)

	15歳以上就業者数				年齢別割合(%)			
	総数	35歳未満	35～64歳	65歳以上	総数	35歳未満	35～64歳	65歳以上
総数 1)	220,468	71,328	135,107	14,033	100.0	32.4	61.3	6.4
A 専門的・技術的職業従事者	28,638	10,139	17,295	1,204	100.0	35.4	60.4	4.2
B 管理的職業従事者	4,992	206	3,724	1,062	100.0	4.1	74.6	21.3
C 事務従事者	39,364	13,257	24,686	1,421	100.0	33.7	62.7	3.6
D 販売従事者	34,276	10,984	20,670	2,622	100.0	32.0	60.3	7.6
E サービス職業従事者	21,659	7,734	12,363	1,562	100.0	35.7	57.1	7.2
F 保安職業従事者	3,673	1,112	2,357	204	100.0	30.3	64.2	5.6
G 農林漁業作業員	2,343	217	849	1,277	100.0	9.3	36.2	54.5
H 運輸・通信従事者	7,043	1,633	5,102	308	100.0	23.2	72.4	4.4
I 生産工程・労務作業員	72,978	23,965	45,245	3,768	100.0	32.8	62.0	5.2

1) 「分類不能の職業」含む。

4 産業(大分類)別

■15～34歳就業者の占める割合が最も高いのは「サービス職業従事者」

産業(大分類)別に職業大分類別の15歳以上就業者数をみると、「製造業」の「生産工程・労務作業従事者」が3万3,874人(就業者全体の15.4%)と最も多く、次いで、「卸売・小売業」の「販売従事者」が2万2,220人(10.1%)、「建設業」の「生産工程・労務作業従事者」が1万5,527人(7.0%)、「医療・福祉」の「専門的・技術的職業従事者」が1万888人(4.9%)と続いています。

表4 産業(大分類)、職業(大分類)別15歳以上就業者数(平成17年)

	総数 1)	A	B	C	D	E	F	G	H	I
		専門的・ 技術的職業 従事者	管理的 職業従 事者	事務 従事者	販 売 従 事 者	サービ ス職 業従 事者	保安職 業従 事者	農林漁 業作 業者	運輸・ 通信従 事者	生産工 程・労 務作 業者
15歳以上就業者数 総数 2)	220,468	28,638	4,992	39,364	34,276	21,659	3,673	2,343	7,043	72,978
第1次産業(A～C)	2,195	10	17	38	17	2	-	2,038	-	73
A 農 業	2,079	10	12	35	16	2	-	1,937	-	67
B 林 業	7	-	-	1	-	-	-	6	-	-
C 漁 業	109	-	5	2	1	-	-	95	-	6
第2次産業(D～F)	70,173	4,039	2,114	10,010	3,715	123	86	124	508	49,437
D 鉱 業	78	-	11	17	2	-	-	-	12	36
E 建 設 業	22,569	1,055	853	3,256	1,502	59	11	108	195	15,527
F 製 造 業	47,526	2,984	1,250	6,737	2,211	64	75	16	301	33,874
第3次産業(G～R)	142,459	24,580	2,856	29,204	30,495	21,527	3,587	180	6,525	23,398
G 電気・ガス・熱供給・水道業	1,579	124	15	502	161	2	7	-	3	765
H 情 報 通 信 業	3,024	1,305	69	906	423	4	4	-	144	166
I 運 輸 業	10,857	85	289	2,168	273	35	62	-	5,174	2,767
J 卸 売 ・ 小 売 業	43,156	821	1,060	8,703	22,220	1,424	19	50	243	8,599
K 金 融 ・ 保 険 業	5,231	78	179	2,414	2,508	23	6	-	6	17
L 不 動 産 業	2,533	19	173	576	1,065	538	8	-	8	146
M 飲 食 店 ・ 宿 泊 業	11,136	42	91	483	1,470	8,511	6	2	9	517
N 医 療 ・ 福 祉	19,042	10,888	106	2,688	69	4,625	38	5	115	497
O 教 育 ・ 学 習 支 援 業	9,145	7,017	104	1,125	58	374	21	29	119	291
P 複 合 サ ー ビ ス 事 業	1,773	22	72	1,071	238	16	4	6	271	72
Q サービス業(他に分類されないもの)	29,855	3,914	613	6,162	2,010	5,956	1,228	86	395	9,434
R 公務(他に分類されないもの)	5,128	265	85	2,406	-	19	2,184	2	38	127
職業別割合(%)										
総数 1)	100.0	13.0	2.3	17.9	15.5	9.8	1.7	1.1	3.2	33.1
第1次産業(A～C)	100.0	0.5	0.8	1.7	0.8	0.1	-	92.8	-	3.3
A 農 業	100.0	0.5	0.6	1.7	0.8	0.1	-	93.2	-	3.2
B 林 業	100.0	-	-	14.3	-	-	-	85.7	-	-
C 漁 業	100.0	-	4.6	1.8	0.9	-	-	87.2	-	5.5
第2次産業(D～F)	100.0	5.8	3.0	14.3	5.3	0.2	0.1	0.2	0.7	70.5
D 鉱 業	100.0	-	14.1	21.8	2.6	-	-	-	15.4	46.2
E 建 設 業	100.0	4.7	3.8	14.4	6.7	0.3	0.0	0.5	0.9	68.8
F 製 造 業	100.0	6.3	2.6	14.2	4.7	0.1	0.2	0.0	0.6	71.3
第3次産業(G～R)	100.0	17.3	2.0	20.5	21.4	15.1	2.5	0.1	4.6	16.4
G 電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	7.9	0.9	31.8	10.2	0.1	0.4	-	0.2	48.4
H 情 報 通 信 業	100.0	43.2	2.3	30.0	14.0	0.1	0.1	-	4.8	5.5
I 運 輸 業	100.0	0.8	2.7	20.0	2.5	0.3	0.6	-	47.7	25.5
J 卸 売 ・ 小 売 業	100.0	1.9	2.5	20.2	51.5	3.3	0.0	0.1	0.6	19.9
K 金 融 ・ 保 険 業	100.0	1.5	3.4	46.1	47.9	0.4	0.1	-	0.1	0.3
L 不 動 産 業	100.0	0.8	6.8	22.7	42.0	21.2	0.3	-	0.3	5.8
M 飲 食 店 ・ 宿 泊 業	100.0	0.4	0.8	4.3	13.2	76.4	0.1	0.0	0.1	4.6
N 医 療 ・ 福 祉	100.0	57.2	0.6	14.1	0.4	24.3	0.2	0.0	0.6	2.6
O 教 育 ・ 学 習 支 援 業	100.0	76.7	1.1	12.3	0.6	4.1	0.2	0.3	1.3	3.2
P 複 合 サ ー ビ ス 事 業	100.0	1.2	4.1	60.4	13.4	0.9	0.2	0.3	15.3	4.1
Q サービス業(他に分類されないもの)	100.0	13.1	2.1	20.6	6.7	19.9	4.1	0.3	1.3	31.6
R 公務(他に分類されないもの)	100.0	5.2	1.7	46.9	-	0.4	42.6	0.0	0.7	2.5

1) 「分類不能の職業」含む。

2) 「分類不能の産業」含む。

II 合併町の状況

■家島町は「農林漁業作業者」、それ以外の町は「生産工程・労務作業者」が最も高い割合

平成18年3月27日に姫路市と合併した各町の15歳以上就業者数を職業大分類別にみると、家島町では、就業者2,950人のうち、「農林漁業作業者」が654人で全体の22.2%を占めて最も多く、次いで「運輸・通信従事者」が635人(21.5%)、「生産工程・労務作業者」が495人(16.8%)と続いています。

夢前町では、就業者9,737人のうち、「生産工程・労務作業者」が4,046人(41.6%)と最も多く、次いで、「事務従事者」が1,627人(16.7%)、「販売従事者」が1,164人(12.0%)と続いています。

香寺町では、就業者9,127人のうち、「生産工程・労務作業者」が3,544人(38.8%)と最も多く、次いで、「事務従事者」が1,721人(18.9%)、「専門的・技術的職業従事者」が1,171人(12.8%)と続いています。

安富町では、就業者2,753人のうち、「生産工程・労務作業者」が1,156人(42.0%)と最も多く、次いで、「事務従事者」が412人(15.0%)、「専門的・技術的職業従事者」が325人(11.8%)と続いています。

図4 合併町の職業(大分類)別15歳以上就業者割合(平成17年)

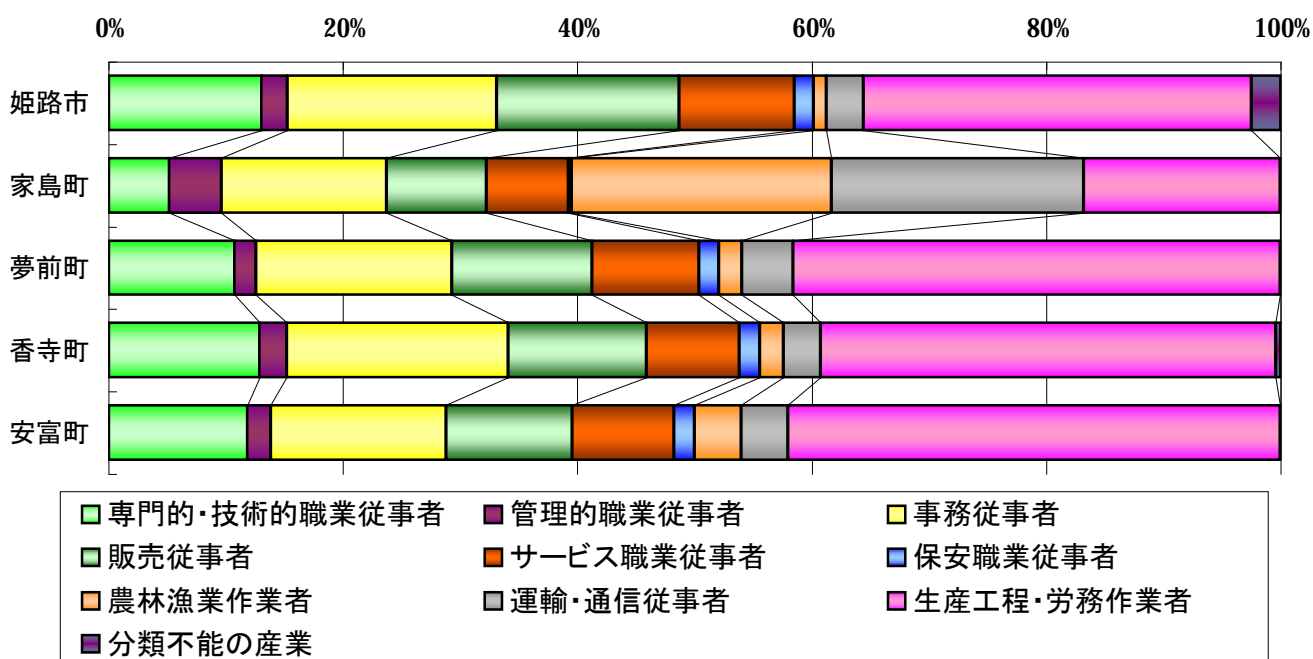


表5 産業(大分類)、職業(大分類)別15歳以上就業者数(平成17年)

	総数 1)	A	B	C	D	E	F	G	H	I
		専門的・技術的職業従事者	管理的職業従事者	事務従事者	販売従事者	サービス職業従事者	保安職業従事者	農林漁業作業者	運輸・通信従事者	生産工程・労務作業者
15歳以上就業者数										
姫路市	220,468	28,638	4,992	39,364	34,276	21,659	3,673	2,343	7,043	72,978
家島町	2,950	152	132	416	251	205	9	654	635	495
夢前町	9,737	1,042	181	1,627	1,164	891	163	190	426	4,046
香寺町	9,127	1,171	216	1,721	1,080	724	157	187	288	3,544
安富町	2,753	325	56	412	295	239	48	111	109	1,156
職業別割合(%)										
姫路市	100.0	13.0	2.3	17.9	15.5	9.8	1.7	1.1	3.2	33.1
家島町	100.0	5.2	4.5	14.1	8.5	6.9	0.3	22.2	21.5	16.8
夢前町	100.0	10.7	1.9	16.7	12.0	9.2	1.7	2.0	4.4	41.6
香寺町	100.0	12.8	2.4	18.9	11.8	7.9	1.7	2.0	3.2	38.8
安富町	100.0	11.8	2.0	15.0	10.7	8.7	1.7	4.0	4.0	42.0

1) 「分類不能の職業」含む。